



祝

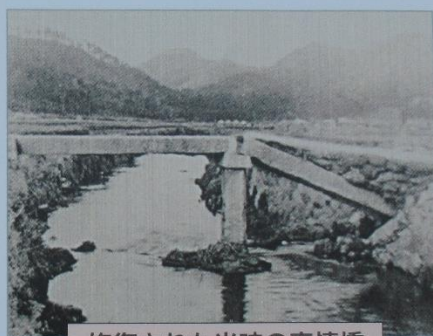
まごころはし
真情橋の案内看板

地域の宝をいつまでも

まごころはし
味生のまごころのルーツ『真情橋』の碑
～6少年の勇気と活躍をいつまでも言い伝えよう!～



大正14年 文部大臣表彰



修復された当時の真情橋

大正12年(1923)7月、台風に伴う洪水で、宮前川にかかる石橋の北半分がななめにくずれ落ちました。次の年1月、味生小学校6人の児童が力を合わせ、工夫し手を加えて通れるようにしました。それを記念して建てられた碑は、現在、味生小学校内にあります。この「まごころ」が現在、味生の小学校教育の根源になっております。



真情橋まで
北へ60m

松山市地域の宝みがきサポート事業
令和2年3月 味生地区まちづくり協議会



～真情橋の由来について～

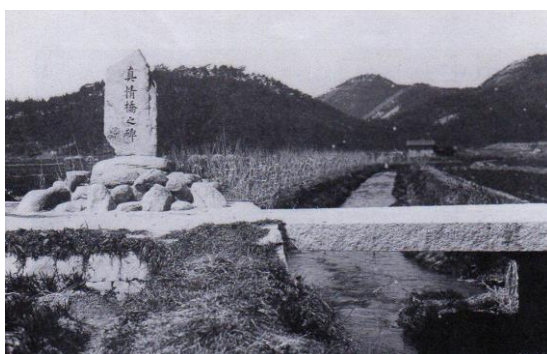
大正12年7月、南斎院と北斎院をつなぐ石橋が中ほどのつなぎ目から折れ、一方が川に落ちてしまいました。半年間、橋は修理されず、南斎院の児童たちは通学に不便を感じながら、この危険な橋を渡り続けました。

大正13年1月、この地域に住む一色忠徳ら6人の少年たちは「自分たちも小さい子どもたちも安全に渡れるように」という思いで橋の修理を決意しました。身を切るような冷たさに耐え「早起き会の奉仕作業」として6少年が、橋の修繕を行いました。少年たちの純粋な心が、南・北斎院の協力体制を生み、やがて味生青年団によって、本格的に改修されました。

その時から、小さな橋は「真情橋」と呼ばれるようになりました。



【現在の真情橋】



【昭和11年 青年団が建てた碑】

味生地区まちづくり協議会が、「真情橋」という名称で親しまれている橋を紹介する案内看板を設置しました。現在、橋は改修されて姿を変えましたが、「まごころ」は変わることなく今も地域に受け継がれています。

真情橋之



まち協設立地区紹介コーナー



好評連載中！



生石地区まちづくり協議会

面積：7.48km²
人口：18,658人
世帯数：8,009世帯
※R2.5.1 現在

生石地区は、自然と緑豊かな垣生山を中心に、生石八幡神社や金毘羅神社など数多くの史跡が残っています。

臨海地域には工場も多く、通勤で県外からやってくる人が多いこともあり、新しい住民も地域になじみやすい環境です。



地区の見どころ



◎垣生山

かつては山頂に垣生山城という城がありましたが、現在は、公園や展望台が整備されて桜が植えられています。春にはピンクに染まる山頂から興居島や松山城などの美しい景色を楽しんでください。



◎松山空港

羽田・伊丹を中心に中部・福岡便などのほか、LCCを利用した成田行きも運行しています。館内では市民参加型のイベントも開催しており、ポンジューズが水道の蛇口から出てくるイベントは大人気です。



【垣生山】



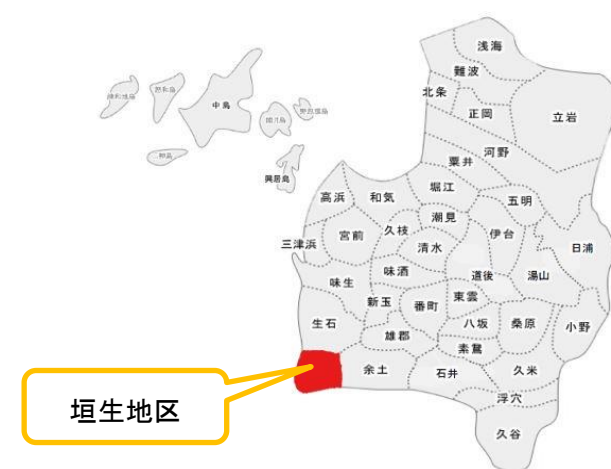
【松山空港】

垣生地区まちづくり協議会

面積：4.24km²
人口：12,004人
世帯数：4,736世帯
※R2.5.1 現在

垣生地区は、南は重信川、西は瀬戸内海に面した美しい夕日が見られる地区です。

松山空港や、隣接する松前町にある四国最大級のショッピングモールまで車で10分と、生活に便利のため、開発中の分譲地も増加しています。



垣生地区

地区の見どころ



かぎや ◎鍵谷カナ

伊予絃の創設者である鍵谷カナは、現在の西垣生町で生まれました。

毎年、命日である5月28日にはカナの遺徳を偲び、「鍵谷祭(かぎやさい)」が開かれ、慰霊祭や子ども相撲大会などが行われています。



◎たこ飯

地元でとれた「たこ」と、ニンジンやゴボウなどの野菜をご飯と一緒に炊き込んだ郷土料理です。専門店もあるので、是非食べ比べてみてください。



【鍵谷祭】



【たこ飯】

活動内容の一例



◎垣生山に登ろう会

地域のシンボルである垣生山に登るイベントを年に4回開催しています。

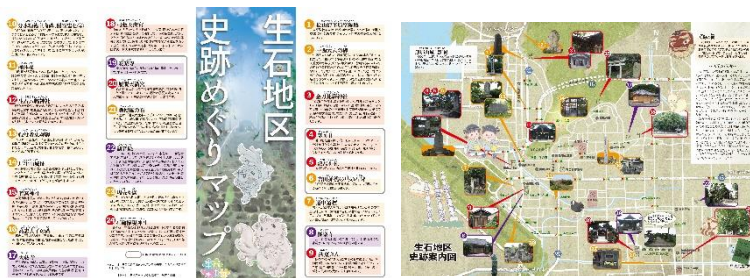
登山道は、まち協の垣生山整備部を中心に整備し、30分ほど登ると、瀬戸内海や工業地帯などの素晴らしい景色を楽しむことができます。



◎生石地区史跡めぐりマップ

平成29年度に教育文化部で、地域内の史跡をイラストで案内する史跡めぐりマップを作成し、全戸配布しました。

このマップを使って保育園児が史跡めぐりを楽しむなど、地域の皆さんに活用していただいています。



活動内容の一例



◎垣生の夏まつり

数年前まで途絶えていた夏まつりを、まち協が平成28年度に復活させました。

当日、垣生音頭が流れる会場では、盆踊りや屋台を楽しむ1,500人を超える参加者で大いに盛り上がります。



◎花いっぱい垣生のまちづくり

地域の「宝」を発掘し、後世に残していくために、花いっぱい垣生のまちづくり事業を開催しています。

今後は、平和と希望の象徴といわれるカンナを増やし、赤い花で地域に元気と活力を与えたいと思います。





マスクを作りました



いろいろなマスクがあるので、子どもたちはどのマスクにしようか悩んでしまいますね。



久枝地区まちづくり協議会教育文化部では、新型コロナウイルス感染症予防のためのマスク作りを進めています。今は部で集まるのが難しいため、金子部長をはじめ部員の皆さんは自宅で作業をしています。ガーゼ地のマスクには、花や動物のアップリケを付いたり、使い捨てのマスクには、イラスト付きペーパーナプキンに折り目を付け、裏にマスキングテープを使用したりと、様々な工夫を凝らし、いろいろな種類のマスクができています。

できあがったマスクは、久枝地区の子どもたちに使ってもらうため、地区内の5つの児童クラブと1つの放課後こども教室に寄贈されました。

コミュニティ・アドバイザー会合



4月10日（金）、昨年度に引き続き、讃岐幸治氏・若松進一氏・前田眞氏の3名へコミュニティ・アドバイザーの委嘱状をお渡ししました。

その後の会合では、昨年度の取組としてパワーアップ大会や地域応援まちづくり講座などの報告をするともに、今年度の予定としてまち協の取組調査や啓発DVDの活用などを説明しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者全員がマスクを着用し、窓を開けたまま開催しました。皆様にも、もうしばらくの間、感染拡大を回避する行動へのご協力をお願いします。

第29回 まちづくりで輝く人

地域で活躍している人を紹介します

味生地区まちづくり協議会

事務局長

水口（みなくち）俊夫さん



趣味

休日は、カメラ片手に野鳥撮影か、松山空港周辺に飛行機の撮影に行っています。

今回の表紙を飾った「真情橋の案内看板」の作成でも活躍されている水口俊夫さんを紹介します。

【味生地区はどのようなところですか？】

松山市の南西部に位置し、空港通・南斎院・北斎院・別府・清住・大可賀・山西の7町からなります。味生地区に隣接する史跡「古照（こでら）遺跡」を展示する考古館があります。古くからの神社・仏閣も多く、日本書紀にも記述がある齊明天皇・神功皇后・紫式部の言い伝えが残っている文化があります。ロマンあふれる歴史と教育の地域です。

【まち協でどのような活動に取り組まれていますか？】

公民館との共催事業をはじめとし、他団体と連携しながら、安全安心なまちづくりを目指しています。

定期的に発行している「味生まちづくり便り」は、まち協の活動事業や地域のニュースなど幅広く掲載し、興味を持っていただける紙面づくりを心掛けています。

【まち協で活動して良かったことを教えてください。】

味生地区には、良い所がたくさんあることがわかりました。真情橋（まごころはし）案内看板設置まで2年あまりかかり苦労しましたが、協力いただいた方々には感謝がありません。

【今後の目標や抱負を教えてください。】

今後は、多くの女性に参加していただき新しい交流の場を広げたいと思います。

味生地区の皆さんに「味生地区に住んで良かった」と言っていたいただける思いやりのあるまちづくりを目指しています。